



2021年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年9月7日

上場会社名 サトウ食品株式会社
 コード番号 2923 URL <http://www.satosyokuhin.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 元
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 近藤 充
 四半期報告書提出予定日 2020年9月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 025-275-1100

(百万円未満切捨て)

1. 2021年4月期第1四半期の連結業績(2020年5月1日～2020年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期第1四半期	6,974	13.0	306		389		255	
2020年4月期第1四半期	6,169	4.8	364		300		216	

(注) 包括利益 2021年4月期第1四半期 241百万円 (%) 2020年4月期第1四半期 269百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年4月期第1四半期	50.69	
2020年4月期第1四半期	42.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年4月期第1四半期	31,910	13,508	42.3
2020年4月期	32,621	13,468	41.3

(参考) 自己資本 2021年4月期第1四半期 13,508百万円 2020年4月期 13,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年4月期				40.00	40.00
2021年4月期					
2021年4月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年4月期末配当金の内訳: 普通配当30円00銭 記念配当10円00銭

2021年4月期末配当金(予想)の内訳: 普通配当30円00銭

詳細は、本日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,840	2.8	10		60		35		6.94
通期	43,500	3.1	930	2.4	1,080	4.5	670	2.7	132.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、本日発表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年4月期1Q	5,075,500 株	2020年4月期	5,075,500 株
期末自己株式数	2021年4月期1Q	31,499 株	2020年4月期	31,499 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年4月期1Q	5,044,001 株	2020年4月期1Q	5,044,144 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による世界的な経済停滞の影響を受け、工業製品を中心に生産や輸出が急速に低下するなど、全体的に低水準で推移いたしました。

また、緊急事態宣言の発令に伴う外出の自粛や催事開催の制限が企業活動や個人消費に与える影響は大きく、国内景気は減速を余儀なくされ、同宣言解除後も先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルスへの感染防止策として政府が打ち出した外出自粛要請などを背景に、家庭内消費食品への需要が一時的に増加したものの、感染拡大の収束や景気回復の時期が見通せない中、消費者の生活防衛意識の高まりや節約志向などにより、依然と厳しい経営環境が続くものと予想しております。

このような状況のもと、当社グループは引き続き、安全・安心に重点をおいた包装米飯及び包装餅製品の安定供給、並びに適正価格での販売に努めることを基本に事業活動を推進してまいりました。

おいしさの追求はもちろんのこと、お客様の消費動向を捉えながら、多様化するニーズに対応可能な生産体制の整備を進めるとともに、全社一体となった営業活動に取り組むことで業績の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした内食需要の高まりもあり、包装米飯及び包装餅製品ともに主力製品を中心に堅調に推移したことから、前年同期比8億4百万円増の69億74百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

利益面につきましては、売上高の増加にともない売上総利益が増加した結果、営業利益は3億6百万円(前年同期営業損失3億64百万円)、経常利益は3億89百万円(前年同期経常損失3億円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億55百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失2億16百万円)となりました。

なお、当社グループは主力製品である包装餅が季節商品(特に鏡餅)であり、その販売が年末に集中するため、第3四半期連結会計期間の売上高及び利益が他の四半期連結会計期間に比べ著しく増加する傾向があります。

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、製品分類別における販売の動向は以下のとおりであります。

製品分類別の販売動向 (包装米飯製品)

包装米飯製品では、簡便性や保存性の高さから需要拡大傾向が続く中、昨年6月に竣工した新米飯工場「サトウのごはん聖籠ファクトリー」の本格稼働により生産体制が整ったため、商品のバリエーション強化を目的に、新商品として「九州産ひのひかり」、並びに復活商品として「会津産コシヒカリ」や「国内産コシヒカリ」の発売(9月1日より)に向けて、商品開発を進めてまいりました。

さらに、長年にわたる炊飯に関する研究や風味・食感を保つための保存試験により、賞味期限の1年への延長が実証されたため、サトウのごはん全NB商品の賞味期限をこれまでの10か月から1年へ延長(8月1日より)し、近年国際的な課題の一つとして挙げられている食品ロスの削減にも取り組んでまいりました。

これらの取り組みとともに、当社製品が日本古来の炊飯方法を忠実に再現した独自の製造技術(厚釜ガス直火炊き)により、電子レンジ2分で家庭と同様の炊き立てのごはんを再現できることや、製品名に原料米の産地銘柄を明確に表示していることがお客様の利便性及び安全・安心意識にマッチしていること、さらには、昨今の生活スタイルの変化を背景とした内食需要の高まりが影響し、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装米飯製品の売上高は56億52百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

(包装餅製品)

包装餅製品では、当社グループのみが個包装に使用している酸素を吸収する「ながモチフィルム」の特徴(鮮度保持剤なしでつきたての美味しさを24か月保てる)を芦田愛菜さんが可愛らしく紹介するCMや、切り餅「いっぽん」のスティック形状を活かした様々な食べ方を消費者の皆様に提案するCMを新たに制作(いずれも8月より全国放映)し、秋以降の販売活動拡大に向けた取り組みを行いました。

また、鏡餅については、らくポイシリーズや小飾りシリーズのアイテムの充実や、サツタイプ化粧箱を赤基調のパッケージに一新するなど、年末の販売増加に向けた商品開発に取り組みました。

このほか、鏡餅を店舗で陳列する際の開封作業の軽減を目的に、新たに「らくらくパッケージ(SRP対応段ボール)」を採用し、取扱店の拡大を目指しております。

なお、包装餅製品につきましても、包装米飯製品同様に一時期内食需要が高まりを見せたことから、売上高は堅調に推移いたしました。

その結果、包装餅製品の売上高は13億17百万円(同8.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は132億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億43百万円減少いたしました。

これは主に商品及び製品が34億53百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が28億45百万円、原材料及び貯蔵品が6億27百万円、流動資産のその他が3億66百万円減少したことによるものであります。減少した流動資産のその他の主なものは未収消費税であります。

固定資産は186億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億68百万円減少いたしました。

これは主に機械装置及び運搬具が2億28百万円、建物及び構築物が64百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は319億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億11百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は110億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億10百万円減少いたしました。

これは主に運転資金としての短期借入金が9億50百万円増加したものの、未払金が11億77百万円、流動負債のその他が2億13百万円減少したことによるものであります。減少した流動負債のその他の主なものは未払費用であります。

固定負債は73億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億40百万円減少いたしました。

これは主に長期借入金が3億38百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は184億2百万円となり、前連結会計年度に比べ7億51百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は135億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が53百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.3%(前連結会計年度末は41.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年4月期の第2四半期及び通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が不透明で売上高等を合理的に見積ることが困難であったため未定としておりましたが、国内外で経済活動が再開された現在の状況を踏まえ、当第1四半期の業績並びに現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定しましたので公表いたします。

なお、今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況等が変化し、業績に与える影響が大幅に変動すると見込まれる場合には、連結業績予想の修正を適切に公表してまいります。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	306,477	296,459
受取手形及び売掛金	8,443,834	5,598,610
商品及び製品	1,791,935	5,245,656
仕掛品	653,359	602,521
原材料及び貯蔵品	1,894,882	1,267,693
その他	580,182	213,967
貸倒引当金	△6,850	△4,540
流動資産合計	13,663,821	13,220,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,844,538	5,780,078
機械装置及び運搬具(純額)	6,157,832	5,929,538
土地	2,346,415	2,341,980
その他(純額)	424,173	486,201
有形固定資産合計	14,772,960	14,537,798
無形固定資産	174,022	265,395
投資その他の資産		
投資有価証券	1,149,288	1,128,501
投資不動産(純額)	2,368,015	2,363,041
その他	521,135	422,425
貸倒引当金	△27,260	△27,260
投資その他の資産合計	4,011,179	3,886,708
固定資産合計	18,958,162	18,689,902
資産合計	32,621,984	31,910,272

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,218,516	1,525,161
短期借入金	3,750,000	4,700,000
1年内返済予定の長期借入金	2,121,742	2,030,346
未払金	2,971,477	1,793,796
引当金	410,544	225,196
その他	1,010,798	797,598
流動負債合計	11,483,079	11,072,098
固定負債		
長期借入金	6,548,076	6,209,186
引当金	58,649	60,124
退職給付に係る負債	806,377	812,761
その他	257,706	247,847
固定負債合計	7,670,809	7,329,920
負債合計	19,153,888	18,402,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	543,775	543,775
資本剰余金	506,000	506,000
利益剰余金	12,018,385	12,072,317
自己株式	△36,715	△36,715
株主資本合計	13,031,445	13,085,377
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	520,063	498,834
退職給付に係る調整累計額	△83,413	△75,959
その他の包括利益累計額合計	436,650	422,875
純資産合計	13,468,095	13,508,253
負債純資産合計	32,621,984	31,910,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年7月31日)
売上高	6,169,685	6,974,420
売上原価	3,989,863	4,166,348
売上総利益	2,179,821	2,808,072
販売費及び一般管理費	2,543,917	2,501,116
営業利益又は営業損失(△)	△364,095	306,955
営業外収益		
受取賃貸料	48,654	48,113
副産物収入	16,022	30,242
その他	39,831	38,854
営業外収益合計	104,508	117,210
営業外費用		
賃貸費用	22,901	23,274
その他	18,473	11,867
営業外費用合計	41,375	35,141
経常利益又は経常損失(△)	△300,962	389,024
特別損失		
固定資産売却損	-	3,001
特別損失合計	-	3,001
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△300,962	386,023
法人税、住民税及び事業税	6,671	34,736
法人税等調整額	△90,817	95,595
法人税等合計	△84,145	130,331
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216,816	255,692
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△216,816	255,692

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△216,816	255,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,474	△21,228
退職給付に係る調整額	10,368	7,453
その他の包括利益合計	△53,105	△13,774
四半期包括利益	△269,922	241,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269,922	241,918
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。